

鯨 鯨 漁 業 用 海 岸 局

I. 事 業 目 的

試験船、漁業取締船及び一般漁船間とで、指導監督並びに漁業通信を行うことにより人命財産の保全、操業秩序の維持、漁場の適切な利用と、外国200海里内での安全操業と海難事故の未然防止を図り、併せて漁家経営の安定と福祉の向上に資する。

II. 事 業 内 容

1. 実施期間

昭和62年4月1～昭和63年3月日

2. 交信海域

日本海全域、北部太平洋海域

3. 担当者

局 長 日 時 利 悦

総括主査 工 藤 衛

総括主査 大 友 守

4. 取扱通信種別

(1) 指導監督通信

- イ. 日本海サケマス漁業位置報告通信。
- ロ. 試験船及び漁業取締船との通信。
- ハ. 漁業調査協力船との漁海況情報通信。
- ニ. 外国 200海里内操業の位置及び漁獲報告通信。
- ホ. 漁海況情報収集並びに速報通信。
- ヘ. 気象及び航路警報等の周知放送。

(2) 遭難、緊急、安全通信。

(3) 一版漁業通信。

(4) その他。

5. 通信方式

- 1. 無線電話（SSB）にとる片通話通信の受信。
- 2. 気象、航路情報、及び漁海況情報のFAX受信。
- 3. 遭難自動受信機による常時聴守。
- 4. 選択呼出送信機（セルコール送信機）による受信。

6. 勤務形態

宿日直勤務。

Ⅲ. 事業の成果

気象及び、航路情報等の随時周知による海難を最小限に抑え、漁海況速報放送により漁獲の生産を向上させた。

漁海況情報収集事業の強化により、予報事業（特にスルメイカ）の円滑、かつ資源究明に大きく貢献した。

外国 200海里内操業船の、操業状況報告通信の確保と、出漁各船の位置報告及び漁獲報告通信による、出漁漁船の安全操業に寄与した。

表 1 取扱通信実績

種 別 月	指導通信	漁業通信	気 象	事 故	保 安	相手局	通 信 時 間
4	612通	787通	54通	件	1件	280局	455時間00分
5	818	1,367	48		26	720	470 " 10
6	1,627	1,869	49		8	915	456 " 00
7	1,758	1,993	47		5	725	473 " 20
8	1,357	1,633	46	2	14	593	472 " 30
9	1,013	1,704	41		10	665	463 " 00
10	827	1,435	39		6	528	470 " 10
11	527	1,244	36	2	11	558	459 " 40
12	537	1,123	47		8	408	470 " 10
1	367	600	47		7	131	470 " 10
2	390	584	57		12	112	439 " 50
3	520	939	53		11	283	470 " 10
合 計 (A)	10,353	15,278	564	4	119	5,948	5,570 " 00
全年度 (B)	8,725	14,766	536	1	92	6,283	5,535 " 50
A/B	118.7%	103.5%	105.2%	400%	129.3%	94.7%	100.6%

表 2 地域別トン数別隻数

地域 トン数	官 庁	岩 崎	深 浦	鰺ヶ沢	市 浦	下 前	小 泊	電 飛 三 厩	青 森	合 計
10t～以下			1	1		23	15	1		41
11～ 20	1	2	6	5	2	14	12	8		50
21～ 50	2		2	7		2	3			16
51～100	1	1	2	1		2	1		3	11
100 t 以上	2									2
合 計 (A)	6	3	11	14	2	41	31	9	3	120
前年度(B)	7	3	11	14	2	43	32	9	3	124
A／B	85.7%	100%	100%	100%	100%	95.3%	96.9%	100%	100%	96.8%

表 3 空中線電力別隻数

電 力 船 種	10 W	50 W	電話電信併設	合 計
官 庁 船	2	1	3	6
民 間 船	66	48	0	114
合 計 (A)	68	49	3	120
前 年 度 (B)	70	51	3	124
A / B	97.2%	96.1%	100%	96.8%